キャラクター名	プレイヤー名
正体不在(アンノウン)	

シンドローム	ノイマン	**ワークス**	レネゲイドビーイングB	**カヴァー**	
	モルフェウス				
オプショナル		**年齢**		**性別**	

覚醒	無知	**衝動**	飢餓	**初期侵食率**	34 %
出自	謎の出生	**経験**	殺戮の日々	**邂逅**	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	1	0			3
精神	3	0	3			6
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレッドガンズ	射撃	3r+1		9		武器データ変更先
ハンドレッドガンズ+コントロールソート+急所狙い+コンバットシステム	射撃	6r+5	@8	19		判定ダイス-1 ※オリジン:レジェンド、コンセ込み
ハンドレッドガンズ+コントロールソート+急所狙い+コンバットシステム《侵蝕率60%以上》	射撃	10r+5	@8	19		判定ダイス-1 ※オリジン:レジェンド、コンセ込み
ハンドレッドガンズ+コントロールソート+急所狙い+コンバットシステム《侵蝕率80%以上》	射撃	11r+5	@8	19		判定ダイス-1 ※オリジン:レジェンド、コンセ込み

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲： 0　合計回避： 0

所持品	
コネ:噂好きの友人	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
変異種(イレギュラー):モルフェイス	P	N		
アリエス	P 友情	N 不安		
黒猫	P 連帯感	N 無関心		
都築 京香	P 好奇心	N 無関心		
小鳥遊 叶奏	P 好奇心	N 無関心		
朽木城 イデア	P 好奇心	N 無関心		
ルルワ	P 好奇心	N 無関心		

最大財産P: 4　残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
《ヒューマンズネイバー》	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果：衝動判定+LV個。人間に擬態する								
《オリジン:レジェンド》	2	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果：【精神】の達成値を+[LV×2]。噂話や都市伝説、集合意識のRB								
ハンドレッドガンズ	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：武器データ変更								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：C値-LV.(下限7)								
コントロールソート	1	2	メジャー	武器	-	効果参照	-	
効果：組み合わせた判定は【精神】で行える。								
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	〈射撃〉	-	
効果：組み合わせた攻撃を範囲(選択)に変更。判定後装備している武器はすべて破壊される。								
コンバットシステム	3	3	メジャー/リアクション	-	-	効果参照	-	
効果：<射撃>選択。組み合わせた判定+[LV+1]個。								
急所狙い	5	2	メジャー	武器	-	〈射撃〉	-	
効果：組み合わせた攻撃力を+[LV×2]								
ドッペルゲンガー	1	5	メジャー	-	-	シンドローム	Dロイス	
効果：攻撃力+5。ガード不可、カバーリングを行った場合ガードを行ったものとしてダメージ算出できない。1シナリオLV回。								
完全演技	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：精密な計算と膨大な情報を集積し個人の人格を細部に至るまで模倣する。								
万能器具	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：大気やその場にある物質を使って日用品を作り出す。								
効果：								
効果：								

発生して間もなく暴走状態へと陥り、本能・欲望のまま殺戮の日々を送った。
ドッペルゲンガーの都市伝説通り、出会った人間の完全な模倣をし、殺害していく。
この間の記憶は正体不在に殆どない。殺し方のみ覚えている。
そんな時を過ごしていたが、幸か不幸かプランナーと出会すこととなる。
レネゲイドウイルスやオーヴァード・レネゲイドビーイングなどといった存在を知らない正体不在は、これまで通り"ヒト"として彼女を殺そうとするが、反対に
、彼女が連れてきたレネゲイドビーイングである黒猫(アニマル)・白猫(レジェンド)により瀕死状態まで追い込まれる。
しかし、皮肉にも、追い込まれたことにより暴走解除することができた。
それ以降、正体不在は数日間黒猫白猫と共に過ごすこととなる。
この時、呼び方に困った２匹は、枷を付けるという意味も含め、『正体不在』『魂離体』という名を授ける。